

リラクゼーション視点のサステナブルツーリズム

今回、私は式根島スタディツアーに参加し、観光の視点から島中を巡ってみた中で、気づいた点や疑問に感じた点がいくつかあった。これらの点から、島民や観光者にとって本当の意味で持続可能な観光とはどのようなものか、そのために何ができるかを考えていきたい。

このツアーの中で私たちの班が巡った場所で特に印象的だったのは大きく二ヶ所だ。秘湯として多くの人々に知られる地鉤温泉と、自然豊かな遊歩道を通り唐人ヅシロや隈の井、御釜湾第一展望台などを巡るトレッキングコースである。島内の商店をはじめとするまちなみや、海水浴場などの他観光スポットも回ったが、上記の二ヶ所に最も多くの時間を使い、最も楽しむことができた。

最初に地鉤温泉を訪れた。ここは長い階段を下り、自然が残る環境の中で岩々を渡って海水の混じった湯へ入るようになっている。前には広大な水平線が、後ろには力強い岩壁が広がっており、雄大な自然を全身で感じながら秘湯を堪能することができる。その絶景と心地よい湯の力なのか、他の場所ではなかなか得られないほど、心の底からリラックスすることができ、心身ともに洗い流されるような気分になった。いつまでも入っていられたように思う。私を含め、ますます開発が進む全国の都市部に住み忙しい日々を送っている現代の人々や、時代の流れとともにテレワークの普及などで利用する機会が急増した電子機器・ブルーライトを発するデバイスなどに疲れている人々、そんな社会の中で精神的に疲れている人々などに対し、メンタル回復の文脈でもっと知ってもらえないかと考えた。

次にトレッキングコースを巡った。遊歩道はかなり自然がそのままになっている少し険しい道だったが、それがむしろ気分を高揚させてきた。そんな道のりを乗り越えて唐人ヅシロや隈の井に到達した際には非常に達成感を感じることができ、またそれまで木々に遮られ狭くなっていた光景が一気に広がることで大きな開放感も得た。各スポットで式根島の特徴的な植生や鉱物・地質を堪能できるため、環境面での探究の面でも楽しむことができるだろう。そして何より、各スポットの広大な景観は地鉤温泉と同様に心身を洗い流すような強いリラックス感を与えてくれ、特殊な地形・植生・地質は不思議な力を感じさせた。

これらの体験から、式根島としてもっと精神面への効能に焦点を当てたツアーコースの作成や発信に取り組んでいくことが一定の層から非常に強力なリピーターを得ることにつながるのではないかと、その魅力はトレッキングコースや地鉤温泉に十分にあるのではないかと考える。これは一般的なリラクゼーション視点のみならず、根本的な治療法が開発されていない進行性の難病患者や認知症患者に対して部分的に注目されている特殊リラクゼーション体験の視点でも魅力的なのではないかと考えた。本ツアーを経て気づいたこれらの魅力や可能性は個人的にも積極的に発信していきたい、そう思える島体験となった。